

# 教育行政執行方針

赤平市における教育を取り

巻く状況については、関係法令の改正による新しい教育委員会制度が導入され、新制度に基づいた総合教育会議を中心に市長と教育行政が連携することとなりました。市の教育課題に市長と教育行政がそれぞれ役割を果たし、教育環境の充実に取り組んでいます。

主要な教育施策である児童生徒の学力向上については、全国学力・学習状況調査が実施されて10年が経過しました。本市においては一層の学力向上策を講じるとともに、次期学習指導要領の改訂が進む中、周到な準備に取り組みます。

赤平市立小・中学校適正配置計画については、人口減少に伴う児童・生徒数の推移、あるいは教育条件の変化の対応に遅れをとることなく、適切な整備を図ります。また、小学

校統合の検討についても、小学校と中学校がめざす子ども像を共有し、9年間を通じた系統的な教育の考え方を重視して進めていきます。

社会教育においては、第5次赤平市社会教育中期計画が策定後3年を経過し、折り返しのための見直しを行います。特に、炭鉱遺産公園構想における文化財保護事業を重点とした施策の推進に努めます。

教育委員会としまして、赤平市の子どもたちが大きな夢と希望を持ち、それぞれの年代の成長に応じたチャレンジを続けてゆくための教育環境づくりに努めていきます。しごと・ひと・まち創生総合戦略の主要事業のうち11事業を担う教育行政として、市政の一翼を担う気概を持ち、教育政策の方向性を市長と一致させて行政執行にあたります。

## 豊かな学びを実現する 学校教育の推進

**学力向上対策** 全国学力・学習

状況調査の結果を広報やホームページで公表するとともに、各小中学校において、子どもたち一人ひとりの学習到達度・理解度の把握と、指導方法の工夫改善に取り組みます。

本年度は新規事業として、子ども塾を含む学習活動のサポート事業を実施するなど、積極的な学力向上対策を講じます。

**体力の向上** 各小中学校において、

休み時間の縄跳びや児童会による全校遊びなど、学校ごとに工夫を凝らした体力向上の一校一実践を継続します。

また、「こども体力測定会・走り方教室」をはじめ、各種スポーツ大会など社会教育事業への参加促進に努め、子どもたちの体

力の向上を図ります。

**道徳教育** 道徳が特別の教科として位置づけられたことを踏ま

え、各学校では道徳教育の全体計画など諸計画の見直しや授業改善を進めています。本年度は道徳教科書採択を行います。

**食育・学校給食** 農業体験や望

ましい食習慣を育成する食育を推進します。また、昨年度に策定した学校給食における食物アレルギーの対応指針に基づき、安全安心な給食を提供します。

給食費会計の公会計化については、本年度は移行期間として学校経由で給食費を市会計に納入する方式を導入し、平成30年度からを予定している完全公会計化に向かいます。

**いじめ問題** いじめの積極的認



教育行政執行方針を述べる  
多田 豊 教育長

知を行い、状況によってはスクー

ルカウンセラーなど外部の専門家に協力を仰ぎながら、適切な対応を進めます。また、いじめアンケート調査の実施(年2回)や、子ども会議の開催など、いじめの未然防止と解消に向けた積極的な対策を講じます。

**体罰の防止** これまでのアン

ケート調査(年1回)では体罰の発生はありませんでしたが、今後体罰防止の徹底を図り、未然防止に努めます。

**不登校** 不登校が生じない魅力

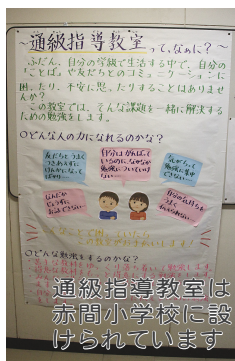
ある学校づくりを進めるとともに、休みが続く児童生徒に対し、個別の支援シートやプランを作成して早期の解決に努めます。

また、昨年成立した教育機会確保法に基づく不登校対策に努

め、スクールカウンセラーや青少年センター指導員による対応、適応指導教室への通所支援を継続します。

**特別支援教育** 昨年施行された障がい者差別解消法を踏まえた特別支援教育の充実に努めます。

また、ことばや心身の発達に課題のある小学生に対する通級指導教室については、積極的な活用を図るよう指導や相談にあたります。



**児童・生徒の安全確保** インター

ネットトラブル、不良行為、薬物乱用、児童虐待、登下校時の交通安全、不審者による前兆事案など様々な非行や被害が危惧されますが、学校と警察署、防犯・交通安全の関係機関が連携して安全指導を行います。また、地域住民による見守り活動にも期待しつつ、教育委員会と学校による指導に努めます。

さらに、昨年の自然災害を教訓として、各小中学校においては、火災・震災を含む防災訓練を実施します。

**赤平市立小・中学校の適正配置計画** 統合中学校の新校舎建設

工事を旧赤平高校跡地にて着工します。平成30年度の統合に向けて、活力ある学校運営を推進するため、教職員挙げて諸準備に取り組みます。

適正配置計画の後期計画の変更については、最終的に市内小学校一校体制も視野に入れ、統合小学校の新築を基本とした変更計画案を策定しました。今後、保護者説明会や住民懇談会などで意見交換を行います。

**コミュニティ・スクール** 小中

学校の統廃合で校下の通学区域が広域化し、従来の学校を支えるしくみが地域の実情に合わなくなってきました。地域が学校運営に参画する持続可能なしくみと地域コミュニティづくりの構築ができるよう、学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールの導入を図ります。

**幼稚園教育** 保護者の就労形態

の変化に対応するため、預かり保育を継続します。

また、幼保連携型認定こども園への移行を想定し、福祉部局との連携を図ります。

**しごと・ひと・まち創生総合戦略**

人材育成と定住促進を期待して貸付金の返還を免除する奨学



幼稚園教育 卒園式の様子

金制度、高校通学費等助成、ICT活用のための備品整備を継続します。

また、新規事業として子ども塾を含む長期休業中や放課後の学習活動の支援を行う学生ボランティア事業を実施します。

**教職員の服務規律の保持** 教職

員による飲酒運転、体罰、わいせつ行為などについては校長会を通して注意を呼びかけ、職場研修を実施しています。引き続き不祥事の未然防止と服務規律の保持に万全を期します。

## 学び合いで地域力を育む 社会教育の推進

**青少年教育** いじめ問題や学力・

体力の向上など、学校教育や家

庭教育が抱える課題は、青少年教育にも共通する課題として重視しています。各事業の目的の達成とともに、思いやりや礼儀の励行、時間の厳守などは、生活や学習活動上の規律の問題として特段の指導に努めます。

青少年の校外生活の指導にあたる青少年センターは、警察署や防犯・交通安全の関係団体と連携しながら、適切な安全の確保に努めます。

**公民館活動** 東公民館・交流セ

ンターみらいにおいては、市民の学習ニーズに合った講座や機会事業のテーマを開発するとともに、親しみやすく利便性の高い施設運営を行います。

**図書館と読書活動** 乳幼児に絵

本を贈るブックスタート事業や学校移動図書館などを実施します。図書館職員やボランティアなどの人材面で図書運営のノウハウを蓄積し、地域に根ざした読書環境づくりに努めます。

**芸術・文化活動** サークルや同

好会会員の減少、高齢化が進む中、市民総合文化祭、東公民館まつり、みらいまつりをはじめとして、個々の連盟、サークルなどの発表会が活発に行われていきます。多様な文化活動を積極的に推進します。

**文化財保護** 炭鉱遺産公園整備

事業について、市の関係部局と緊密な連携を図りながら、施設整備及び保存活動に努めます。

また、立坑やぐらを中心とした関連施設について、国指定文化財などの認定を目的とする委員会の設置を検討します。

**体育・スポーツ** 子どもたちが

プロスポーツ選手と触れ合い、技術の向上を目的とした「こども野球教室」、北翔大学との連携事業で子どもたちの体力向上をめざす「体力測定会・走り方教室」、健康増進と病氣予防を目的とした「市民スマイルウォーキング」を実施します。また、「軽スポーツ・ニュースポーツ大会」など、幅広い年齢層のスポーツ振興に努めます。



はめす大会は、幅広い年齢層が楽しめるスポーツ大会です。

教育行政執行方針の全文につきましては、市のホームページをご覧ください。